

MediaLink

Fast Networking Solution

Break Down the
Barriers to Digital
Audio Connectivity

- ▶ リアルタイムで複数のマルチチャンネルネットワーク
- ▶ ストア / 転送の同時オペレーション
- ▶ 100Base-T Fast Ethernet 利用
- ▶ NTベースのデジタルオーディオサーバーとRAIDを採用

MediaLinkはフェアライトのMFX3^{plus}、
FAMEのための高速なコミュニケーションを
実現、リアルタイムでのマルチチャンネルの
データの保存や転送など、ネットワーキング
の優れた機能を提供します。

fame
mfx3^{plus}

fairlightTM
THE BENCHMARK IN DIGITAL AUDIO

Introducing MediaLink

フェアライトのMediaLinkネットワーキングソリューションは、複数スタジオがある環境においてワークステーションの接続を実現し、オーディオがスタジオや放送産業のために、統合されたソリューションを提供します。MediaLinkはオーディオポストプロダクションや放送番組の制作、フィルムやテレビのポストプロダクション作業に最適な設計がされ、様々な規模のスタジオに対応し、オーディオ制作での作業効率が大幅にアップします。

Network Strategy

オーディオデータの共有はネットワーキングで約束された最も魅力的な機能ですが、よく知られている通り、すぐにシステムの障害に陥ってしまいます。オフィスで一般的な業務用データのネットワーク構成は、複数のワークステーションが大容量のサーバーに接続され、各ワークステーションが全てのデータを同時に共有できるものになっていますが、これはオーディオ作業に簡単に応用することはできません。そこでネットワークの現実と現場での方法論とのつり合いをとり、実用性のあるソリューションに到達するために、オーディオネットワーキング形式を再検討する必要が出てきました。

オーディオネットワークは、保存して転送する方法が、リアルタイム方式が一般的です。それぞれの方法とも一長一短あり、どちらとも選び難いものです。

保存-転送方式は、リアルタイム処理の場合に重要となる帯域幅の条件を考えないで実行することができます。よくバックグラウンド作業で用いられます。コピー、バックアップ、リストア機能がその例で、ネットワークサーバーは、単に蓄積されたオーディオの保存場所として使われます。リアルタイムでの再生などの作業は、ワークステーションのローカルメディアで実行されます。

保存-転送方式がネットワーク帯域幅の制限を受けない一方で、最新のプロジェクトで決定されたデータの所在が不明になるといった複雑なファイル管理の問題が発生します。

一方、サーバーとの間でオーディオの録音、再生を直接行うようなリアルタイムネットワーク方式は、帯域幅については厳しくなっています。オーディオの伝達にはネットワーク経路が整備されている必要があります。大規模なオーディオデータになるほど大きな帯域幅が要求されます。帯域幅がいっぱいになると他の作業ができなくなります。

リアルタイム方式はデータ記録を集中化する利点があり、プロジェクト管理とオートメーション化されたデータのバックアップが簡単に行えます。プロジェクトはスタジオ間で即座に転送、サウンドエフェクトライブラリー等の資源を共有することができます。複数のユーザーが同時に違った目的でアクセスすることもできます。

Combining Methodologies

実用性のあるネットワーキングソリューションに到達するにおいて、フェアライトはMediaLinkで保存-転送方式とリアルタイム方式を結合しました。それぞれの利点を残して両方の技術を採用することによって、素晴らしいソリューションを実現しました。

録音や再生のような帯域幅が重要となるリアルタイム作業は、ローカルのストレージ装置との間で個々のワークステーションで実行します。このようなリアルタイム操作によって使われる素材と、最終的に仕上がったプロジェクトは、ネットワークを通して保存-転送方式を用いて転送されます。編集やコンフォーム等の作業はネットワークを通してリアルタイムで実行します。

The Fairlight Solution

MediaLinkネットワーキングは経済的な100Mbit仕様のFAST Ethernet 5 UTPツイストペアケーブルを使い、複数のMF3^{plus}とFAMEワークステーションの間で縫ぎ目のないリアルタイムの共有、バックアップ、オーディオデータの伝送を実現しています。

フェアライトのMediaLinkサーバーは独立した2つのインテルPentium IIを装備し、マイクロソフトのウィンドウズNTの環境下で動作します。

MediaLinkサーバーは4つの同時MediaLinkネットワークを維持し、各ネットワークで複数のMF3^{plus}とFAMEワークステーションをサポートします。ストレージオプションは1台または複数台のRAIDアレイで高速な転送速度とデータの安全性を確保したものになっています。

この形態ではトータルな透明性が維持され、ネットワーク上の個々のマシンが平等にMediaLinkサーバーとのやりとりを行えることになります。マシン間の複数の転送が即座に行われ、ファイル転送と同様にリアルタイム再生もサポートします。

MacintoshやPCベースのワークステーションも、TCP/IPプロトコルを使って100Base T Fast Ethernet接続することによって、このネットワークを共有することができます。エディットリスト、OMFファイル、16/20/24ビットの標準フォーマットのオーディオデータが接続されたシステム間で交換可能です。

MediaLink 世界的なオーディオプロダクションやポストプロダクション作業のための優れたコミュニケーション環境 は、今日のソリューションであり将来の財産です。



株式会社 フェアライトジャパン

本社 〒157-0066 東京都世田谷区成城4-2-23 Phone 03(5490)1515 Fax 03(5490)1516
大阪 〒530-0041 大阪市北区天神橋3-1-35-7F Phone 06(6356)3081 Fax 06(6356)3080

<http://www.fairlight.co.jp>